




各 位

平成 30 年 5 月 10 日

会社名  日本タングステン株式会社
代表者名 取締役社長 後藤 信志
(コード番号 6998 東証2部、福証)
問合せ先 取締役常務執行役員 徳本 啓
経営戦略本部長
(TEL 092-415-5500)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、創立100周年（2031年）に向けた飛躍への足がかりとして、2018年度から2020年度までの3ヶ年を対象とする中期経営計画「日本タングステングループ2020中期経営計画」を策定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 基本方針

1) 人財の育成：自発的に考え、行動する社員の育成

- ・幅広い視点から深く考える人財を育成し、個人だけでなく組織の課題設定力・課題解決力を向上させていきます。

2) 新商品の創出：お客様のニーズをいち早くつかみ、継続的かつスピーディに新商品を創出

- ・新商品の創出活動を活性化させ、NO.1の価値創造に挑戦します。

3) ものづくりの強化：お客様に満足していただける良いものを安く、早くつくる、ものづくり力

- ・生産効率の向上、コストの削減、品質の安定を図り、利益の拡大を目指します。

4) グローバル市場での拡販：グローバルネットワークの拡大

- ・世界中のお客様へ向けたサービスの提供、販売、製造体制を確立し、売上拡大を目指します。

2. 施策の概要

1) 人財戦略

- ・役職者の人財育成力を向上させるため、年間を通じた役職者育成教育を実施します。
- ・頑張った人財が正当に評価される仕組みを強化し、運用します。
- ・人事ローテーションを実施するなど、多様な職務経験を通じた各人の成長を支援します。
- ・人財データベースを構築し、必要な人財を必要な組織に配置するように活用します。

2) 新商品戦略

- ・マーケティング戦略を担当する部署を明確化したほか、新商品を継続的に創出するための組織体制・プロジェクト体制を構築します。
- ・衛生・医療・半導体・電子部品、自動車など5つのターゲット市場に当社のコア技術・基礎技術を集中し、戦略的に新商品を投入します。
- ・学会・協議会・共同研究活動などのほか、社内コンペの仕組みも導入し、オープンイノベーションを活性化させます。

3) ものづくり戦略

- ・ 全社連携して改善効果の高いコストリダクション活動に効率良く取り組み、利益を創出します。
- ・ 全社の知識と知恵（技術力）を結集し、製造プロセスの変革を図ります。
- ・ 力量や習得方法を明確化し、技能を効果的に向上させます。

4) グローバル戦略

- ・ 主力製品であるダイカッター製品のサービス提供拠点をブラジルに設立し、中南米でのサービスの提供体制を強化します。
- ・ その他の主力製品についても、グローバル市場を見据えた施策等を検討していきます。

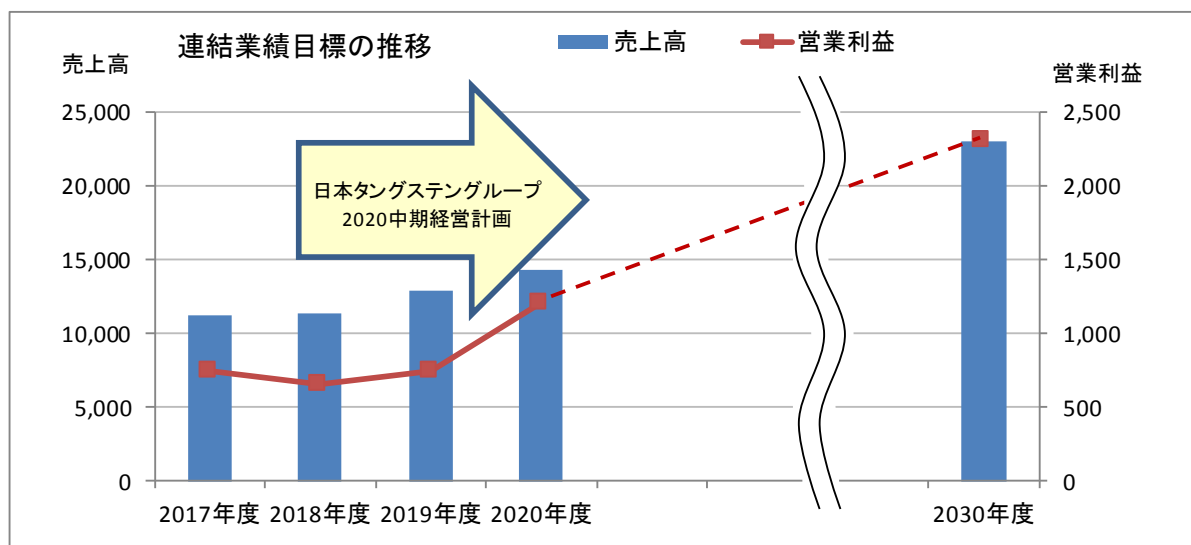
3. 計数計画

・ 最終年度である 2020 年度には、連結売上高:142 億円、営業利益:12 億円の達成を目指してまいります。

連結数値目標

(単位:百万円)

	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
売上高	11,102	11,300	12,840	14,260
営業利益	755	650	750	1,200
ROE	7.5%	6.1%	5.9%	8.3%



<免責事項>

当社が開示する情報のうち、業績見通し等の将来予想に関する情報は、開示時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を多分に含んでいます。実際の業績等は、さまざまな不確定要因の影響等により、見通しとは大きく乖離する可能性があります。

以 上



日本タングステングループ 2020中期経営計画 (2018～2020年度)

～みんなが変える、みんなで創る、未来のニッタン～

平成30年5月10日



当社は、**創立100周年(2031年)**に向けた飛躍への足がかりとして、2018年度から2020年度までの3ヶ年を対象とする中期経営計画「**日本タングステングループ2020中期経営計画**」を策定いたしました。

日本タングステングループ2020中期経営計画は**4つの基本方針**を設定し、最終目標の達成に向けて**重点項目**について各**施策**を実行してまいります。

4つの基本方針

1. 人財の育成

自発的に考え、行動する社員の育成

幅広い視点から深く考える人財を育成し、個人だけでなく組織の課題設定力・課題解決力を向上させていきます

2. 新商品の創出

お客様のニーズをいち早くつかみ、継続的かつスピーディに新商品を創出

新商品の創出活動を活性化させ、NO.1の価値創造に挑戦します

3. ものづくりの強化

お客様に満足していただける良いものを安く、早くつくる、ものづくり力

生産効率の向上、コストの削減、品質の安定を図り、収益拡大を目指します

4. グローバル市場での拡販

グローバルネットワークの拡大

世界中のお客様へ向けたサービスの提供、販売、製造体制を確立し、売上拡大を目指します

2.戦略の概要 1) 人財戦略

4つの人財戦略

役職者の人財育成力の向上

年間を通じた役職者育成教育を実施する

正当な評価制度

頑張った人財が正当に評価される仕組みを強化し、運用する

人事ローテーション

多様な職務経験を通じた各人の成長を支援する

人財の活用

必要な人財を必要な組織に配置するように活用する

行動規範を実践できる人財の育成

■ 行動規範 | Our Way

- ・私たちは、情熱を持って、失敗を恐れずチャレンジします。
- ・私たちは、当事者意識を持って、すぐ行動しやり遂げます。
- ・私たちは、相手の立場になって、期待以上で応えます。

新商品を継続的に創出する戦略

マーケティング機能・新商品開発の質的向上を図り、
商品力・機能で差別化を目指す

3つの施策を土台として
新商品を継続的に生み出すための体制・基盤を整備

新商品創出システムの構築

マーケティング戦略の機能を
集約し、新技術・新商品を
継続的に創出するための組織
体制・プロジェクト体制を構築

コア技術戦略

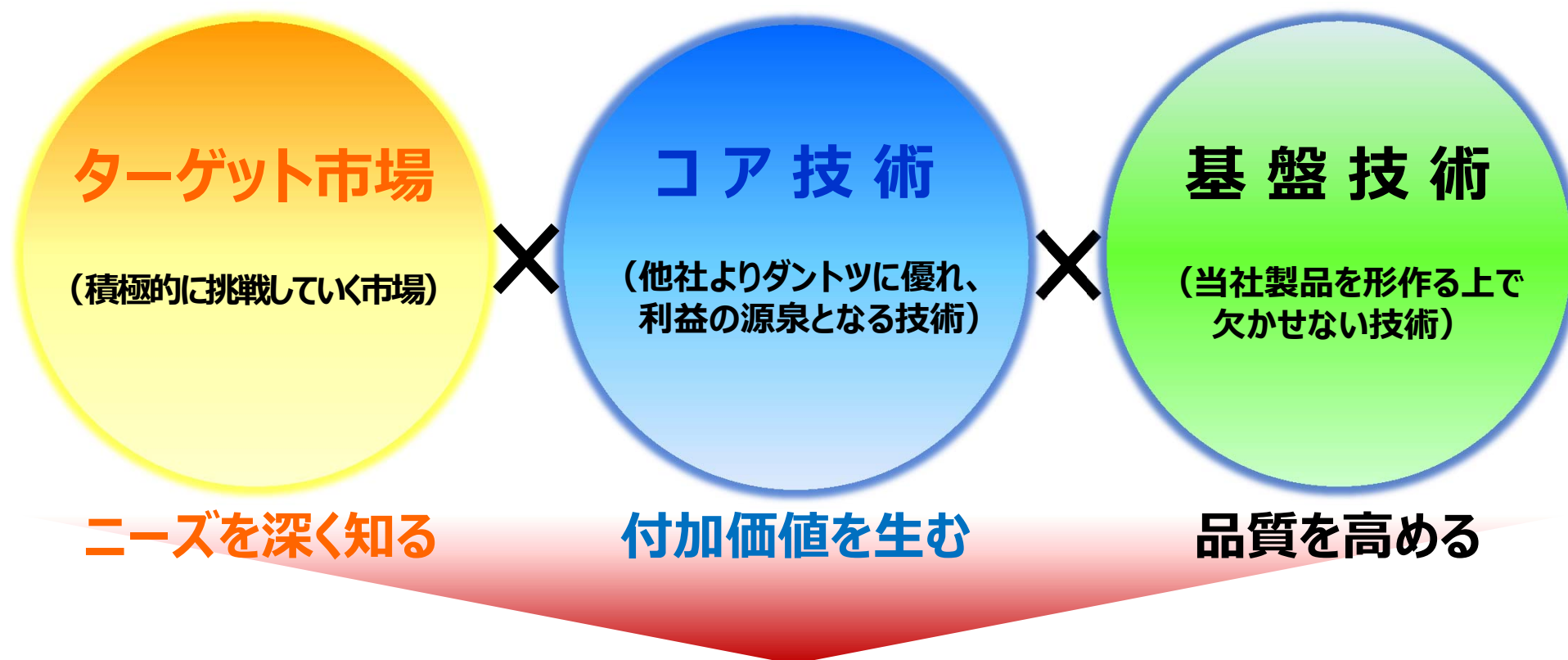
5つのターゲット市場×コア技術
×基盤技術を明確化し、戦略
的に新商品を投入

オープンイノベーションの活性化

学会・協議会活動、共同研究
共同開発等の活性化

2.戦略の概要 2) 新商品戦略

市場・技術戦略



NO.1の価値創造に挑戦

5つのターゲット市場

衛生・医療

人間らしい清潔で豊かな生活を支える衛生用品の製造に、高齢化社会においても健康で安寧な暮らしを保障できる医療技術の進歩に貢献する



半導体・電子部品

半導体の高性能化・小型化を可能にする半導体製造プロセスの革新及び今後の電子化・デジタル化社会を支える部品の製造に貢献する



自動車

環境にやさしい省エネルギーのハイブリッド車、EVの普及に貢献する



産業機器

自動化設備・省力化機器・治具・加工部品など、製造現場でものづくりを支える機器の提供を通して、生産の自動化・品質向上・納期短縮などに貢献する



インフラ

電力・ガス・上下水道などのエネルギー産業、素材産業、通信施設、河川などの都市機能を支える分野で長寿命化製品で貢献する



2.戦略の概要 2)新商品戦略

4つのコア技術

耐久性材料

過酷な環境下においても消耗・劣化することなく優れた機能を維持し続ける材料

耐摩耗
材料

耐食材料

耐熱材料

機能性材料

何物にも代えがたい特異な機能を発揮する、当社独自の材料

絶縁材料

放電材料

複合化技術

異質なものを組み合わせて新たな機能を付加・創出する技術

接合技術

表面処理
技術

ロータリーカット技術

回転する硬質刃によって高速・高精度で輪郭加工する技術

ロータリーカット
設計

ユニット設計

4つの基盤技術

粉体加工技術

粉末を均質に混ぜ、粒子の大きさや分布、表面性状を調整する技術

混合

粉碎

造粒

成形技術

粉末を所望の形状に押し固めて形を整える技術

圧粉技術

押出成型

整形加工

緻密化・組織制御技術

粉末を緻密に焼き固め、結晶粒子の大きさや性質を制御する技術

加圧焼結

常圧焼結

脱脂仮焼

機械加工技術

材料を削って狙いの寸法、形状、表面粗さに仕上げる技術

研削加工

切削加工

研磨加工

ものづくり力強化のための戦略

『コストリダクション活動』

全社連携してコストリダクション活動に
効率良く取り組み、利益を創出する



ものづくり力強化 (現場力・技術力)

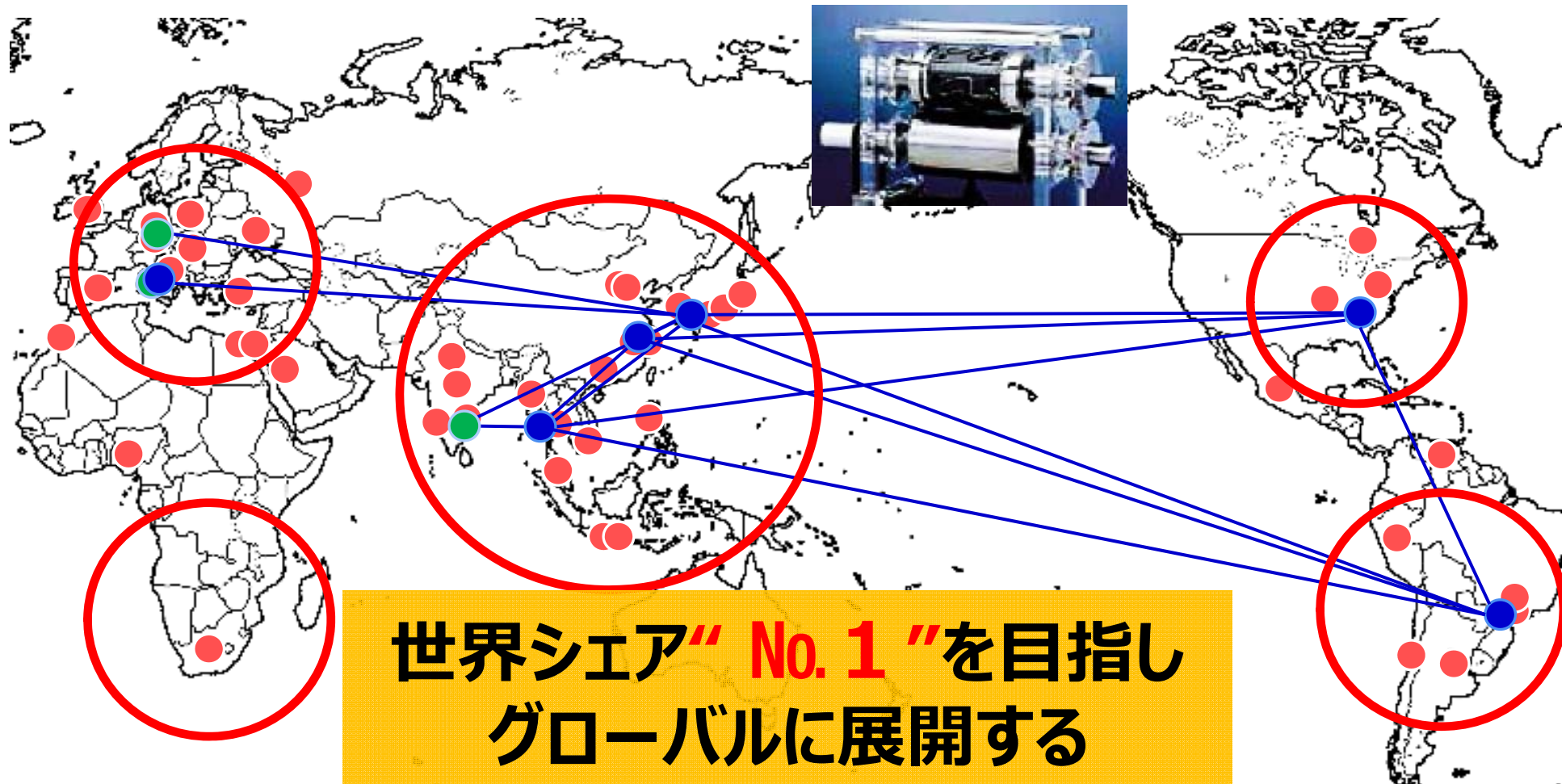
『全社の技術力の結集』

全社の知識と知恵(技術力)を
結集し、製造プロセスを変革する

『ものづくり人財育成』

力量や習得方法を明確化し、
技能を効果的に向上させる

NTダイカッターのグローバル戦略



グローバル市場のお客様（●）ニーズに対応し、販売拠点を展開し、アフターサービス拠点（●:グループ会社 ●:協力会社）を充実させることで、更なるシェアアップを目指します。

3.計数計画

2020（最終）年度に目指す指標

連結売上高

142億円

連結営業利益

12億円

ROE

8.3%

3.計数計画

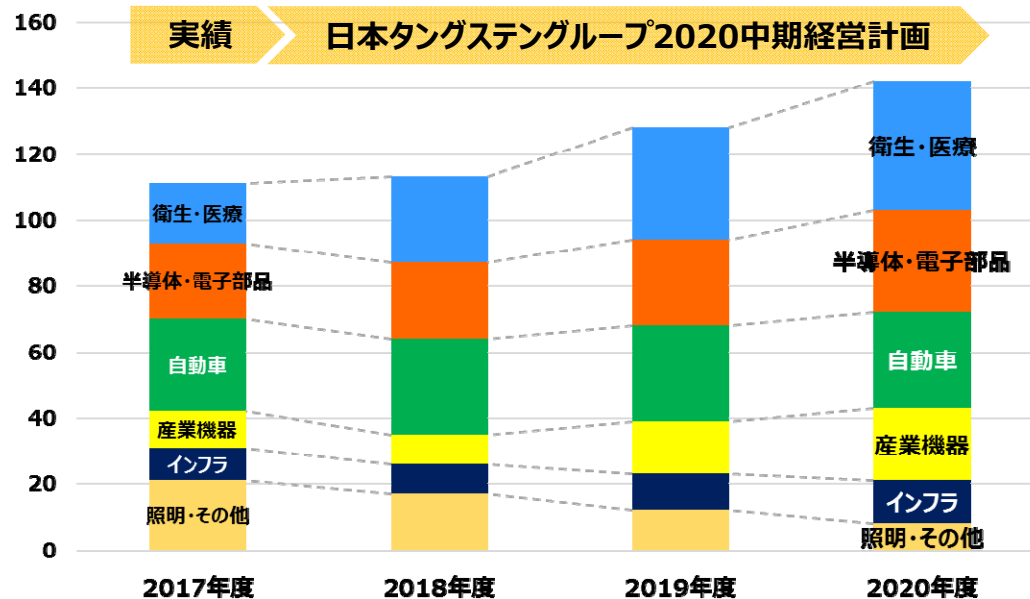
5市場別の連結売上高目標

(単位：億円)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
衛生・医療	18	26	34	39
半導体・電子部品	23	23	26	31
産業機器	11	9	16	22
自動車	28	29	29	29
インフラ	10	9	11	13
照明・その他	21	17	12	8
計	111	113	128	142



(単位：億円)



創立100周年に向けて



本資料に記載されている計画値につきましては、日本タングステン株式会社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の情報に基づいており、その達成を日本タングステン株式会社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、本資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。